

特別支援学級 算数科学習指導案

時間・場所	2校時 かがやき三上・畠山学級教室
学 級	1年9名（男子6名，女子3名） 2年2名（男子1名，女子1名） 3年2名（女子2名）
授業者	三上 憲子（T1） 畠山 浩（T2） 亀谷 由里香（T3）

- 1 単元名 1年生 「くりあがりのあるたしざん」
2・3年生 「新しい計算を考えよう」

2 単元の目標

- ・ さかなつりゲームを通して数量的な活動に関心をもち，意欲的に活動しようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・ 形や色を見分けたり，数を数えたり，計算をしたりすることができる。 (技能)
- ・ 1年生は繰り上がりのあるたし算の計算ができる。 (技能)
- ・ 2・3年生はかけ算を使って式を考えたり，計算をしたりすることができる。 (技能)

3 児童について

本学級は，自閉症・情緒障がい特別支援学級に在籍する1年，2年，3年の児童13名が2クラス合同で学習をしている学級である。個に応じた学習をするために，国語と算数の学習は，1年生のグループと2・3年生のグループの二つに分かれて学習をしている。

計算力については，繰り上がりのない1位数同士の計算を暗算でできる児童もいれば，半具体物を使って答えを導く児童もいて，その差は大きい。繰返し練習をすることで，計算力を付けることのできる児童たちである。本単元では，さかなつりゲームを通して友だちと関わることを学んだり，友だちの考えを聞いて，たし算やかけ算の計算の仕方を理解したり，さらには自力で計算の答えを導き出したりできるように計算の技能を身に付けさせたい。

4 指導計画

- (1) 立体図形を構成している平面図形の特徴とその分類（全員）・・・・・・・・・・ 9時間
(2) 繰り上がりのある1位数どうしの加法計算（1年生）・・・・・・・・・・ 7時間（本時 7/7）
乗法の意味と記号，倍の意味（2・3年生）・・・・・・・・・・ 9時間（本時 8/9）
(3) 計算カードやゲームによる加法計算の練習（1年生）・・・・・・・・・・ 5時間
乗法九九の構成，暗唱と適用（2・3年生）・・・・・・・・・・ 16時間

5 本時について

(1) 目 標

- ・ さかなつりゲームを通して，数量的な活動に関心をもち，意欲的に活動しようとする。
- ・ 数を数えて，たしざんの式に表して計算したり，かけ算の式に表したりして答えを求めることができる。

(2) 本時の評価規準

- 1年生 【技能】 つった魚の数をたし算の式に表し，10のまとまりに着目して答えを求めることができる。
- 2・3年生【技能】 具体物のまとまりに着目して乗法の式に表し，答えを求めることができる。

(3) 研究に関わって

本時の指導では、1年生は被加数・加数の大小に関係なく10のまとまりを作り、自分の考えやすい方法で計算する楽しさを味わわせたい。2年生と3年生は、いろいろな場面を乗法の式に表し自分の考えで答えを導く楽しさを味わわせたい。

- ・ 学び合い活動の工夫
 答えの出し方は一つではないので、友達の考えを聞いて、いろいろな方法があることを学ぶようにする。
- ・ 振り返り活動の工夫
 自分の頑張りや、友達の頑張りをお互いにほめあえる場にした。

(4) 本時の展開

段階	学 習 活 動		指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習内容と順序を確認する。 2 頭のたいそう「かずあそび」をする。 3 本時の課題を設定する。 さかなつりゲームをして、くふうしてかずをかぞえよう		◆評価の観点 ☆復興教育の観点 ◇特別支援の観点 ◇学習過程を表示し、学習への見通しを持たせる。 ◇ゲームのやり方を知り、自信を持って取り組むようにさせる。 ☆「みんなで支え合って前へ」の観点から、友だちと関わりながら仲良くゲームをし、協力する意識を育てる。
展開 30分	4 さかなつりゲームをする。 ・学年を混ぜて3グループでゲームをする。 ・時間を計測して、2回行う。 5 教室を別にして課題解決を図る 1年生 (T2, T3) (1) 1年生の問題を理解する。 あわせてなんびきになりますか。 (2) 釣った魚の数を確認する。 (3) 式を考える。 (4) 答えの求め方を考える。 (5) 自分の考えを発表する。	2年生, 3年生 (T1) (1) 2・3年生の問題を理解する。 皿に同じ数ずつ入れます。 全部でなんびきになりますか。 (2) 一つ分の数を確認する。 (3) 式を考える。 (4) 答えの求め方を考える。 (5) 自分の考えを発表する。	・多い、少ないではなく、自分で釣った魚の数を数えることを意識させる。 ・各グループに教師が入って支援する。 ☆「みんなで支え合って前へ」の観点から、友達と協力する意識を育てるようにする。 ◇紙板書で提示し、どの子も明確に押さえられるようにする。 ・書き込みができるようにワークシートを用意する。 ◆加法(乗法)の式に書き表している。(ワークシート) ◆10のまとまりに着目して答えを導き出そうとしている。(ワークシート) ◆一つ分やいくつ分に着目して答えを導き出そうとしている。(ワークシート) ・困っている児童にはT3が支援する。
終末 10分	6 課題のまとめをする。 10のまとまりをつくとよい 7 学習の振り返りをする。 ・分かったこと、頑張ったことを発表する。 8 練習問題に取り組む。	4 課題のまとめをする。 一つ分、いくつ分をはっきりさせるとよい。 5 学習の振り返りをする。 ・分かったこと、頑張ったことを発表する。 6 練習問題に取り組む	☆「大切な一人ひとり」の観点から、友だちの話を真剣に聞き、良さを認め合うようにする。

板書計画

- 1 かだい
- 2 考える
- 3 発表する
- 4 まとめ
- 5 れんしゅう
- 6 ふりかえり

㊦ さかなつりゲームをして、工夫して数を数えよう。

㊧ 一つ分の数といくつ分がはっきり分ればよい。

㊨ さらに魚を同じ数ずつ入れます。全部で何びきになりますか。

しき 一つ分の数×いくつ分=ぜんぶの数

しき $5 \times 6 = 30$

もとめ方

$5 + 5 + 5 + \dots = 30$

